

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	市川市あおぞらキッズ			
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 2日		～	令和6年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34人	(回答者数)	32人
○従業者評価実施期間	令和6年12 月2 日		～	令和6年 12月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	39人	(回答者数)	39人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月18日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもが安心感をもって通所し、通所を楽しみにしている。	安心できる療育の場となるよう、こどもや保護者の気持ちに寄り添い、信頼関係の構築に努めている。	保護者からの要望を考慮し、子どもの遊びを充実させていく。
2	児童発達支援計画に基づいた支援計画の説明やモニタリングの適切な見直しをしている。	モニタリングの際に今後の進路の意向確認をしたり、進路の選択肢の情報提供をしたりしている。	他機関との連携や研修の受講回数を増やし、職員の質の向上を図る。
3	子どもの特性等に応じた専門性のある支援をしている。	内部や外部講師による研修やコンサルテーションを受け、評価や助言をもとに、療育や職員の質の向上に努めている。	より個々に合った専門的な支援を提供できるよう、様々な支援方法を検討していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	SNSの公開を行っていない。	・事業所の自己評価の結果はホームページで公表している。 ・園内の様子は、個人情報の観点から公表していない。	ホームページやパンフレットの更新を予定している。
2	保護者同士の交流の場や家族への支援、きょうだい支援の機会が少ない。	・家族向けの行事は年2回あり、きょうだいの参加を募っているが、きょうだい同士が触れ合う機会は少ないと感じている。 ・年2回、保護者懇談会の機会を設けている。	家族への支援やきょうだい同士が触れ合える機会を増やす。
3	第三者評価は受けていない。	・外部講師による評価は受けているが、第三者評価は費用などがかかるため、現在は行っていない。	費用の確保等改善に向け、今後検討していく。